



UTokyo Compass 2年経過成果報告

2023年10月

UTokyo COMPASS の基本理念

対話から
創造へ

多様性と
包摂性

世界の誰もが
来たくなる大学

学知を生みだし、つなぎ、深め、卓越性と包摂性を実現

学術での卓越を実現するための、真理への探究心と学問の自由に根ざす研究

地球的な視野、高い倫理、粘り強い実践力、問いを立てる力を育む教育

多様な人間が集まり、課題の発見と共有と解決に取り組む場としての大学

地球規模の課題の解決へ貢献し、世界の公共を担うために創造的に自らの実践をデザイン

インクルーシブで自由なより良い未来社会の創造を目指す



学内構成員との対話

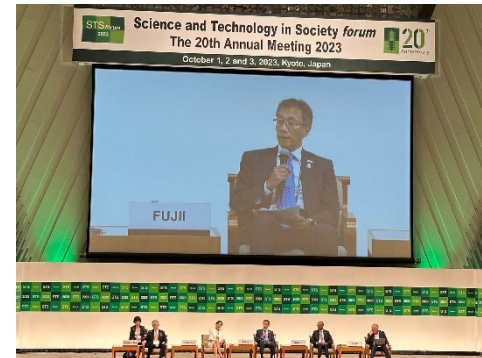
対話のテーマ

- 2023年2月 国際卓越研究大学
 - 2023年8月 研究評価に関するサンフランシスコ宣言 (DORA)
 - 2023年10月 東京大学のバリアフリー
- その他、職員研修の場で構成員との対話を年5回実施

対話の実践

学外者との対話

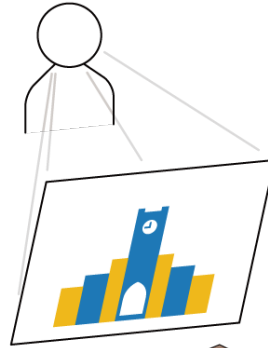
Tokyo Forum (Dialogue between Science and Philosophy)
STS Forum, Times Higher Education World Academic Summit, etc.



3つの視点 (Perspective)

PERSPECTIVE 3

場をつくる



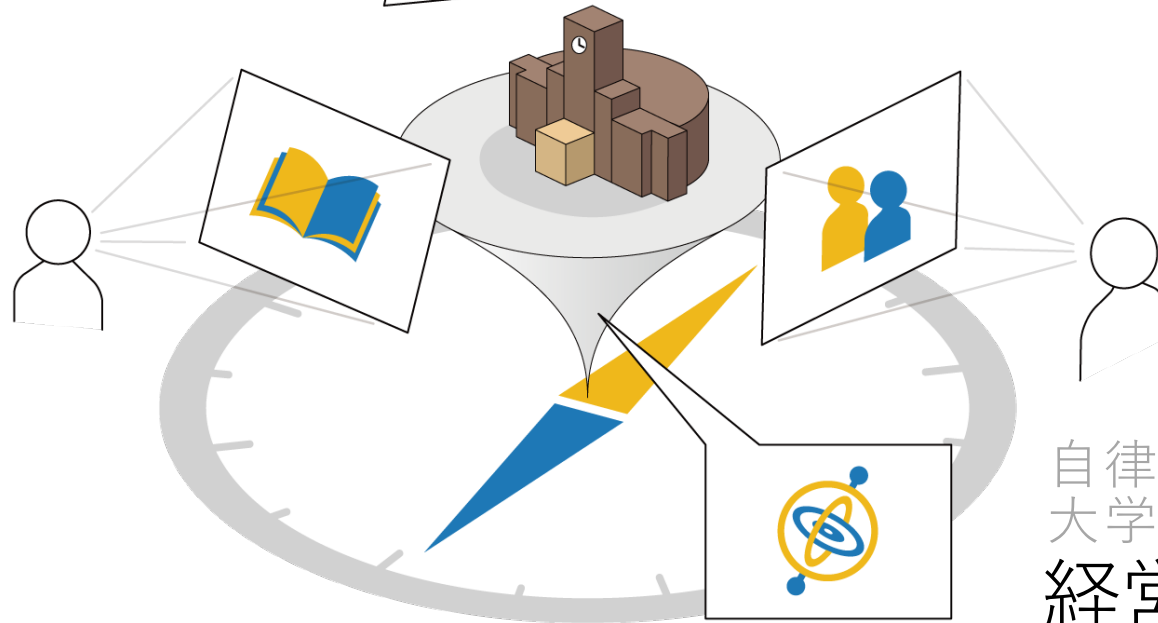
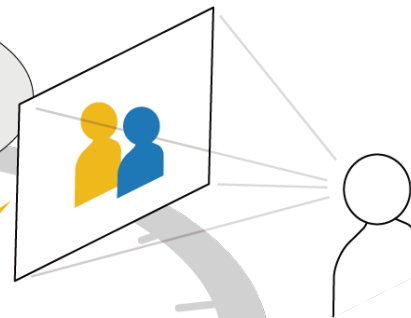
PERSPECTIVE 1

知をきわめる



PERSPECTIVE 2

人をはぐくむ



自律的で創造的な
大学活動のための
経営力の確立

20の目標



経営力の確立

1. 「自律的で創造的な大学モデル」の構築
2. 持続可能な組織体としての経営戦略の創出と大学の機能拡張
3. 大学が果たす役割についての支持と共感の増進



知をきわめる

4. 地球規模の課題解決への取組
5. 多様な学術の振興
6. 卓越した学知の構築
7. 産学協創による価値創造
8. 責任ある研究



人をはぐくむ

9. 包摂性への感受性と創造的な対話力をはぐくむ教育
10. 国際感覚をはぐくむ教育
11. 学部教育：専門性に加えて幅広い教養と高い倫理性を有する人材の育成
12. 大学院教育：高い専門性と実践力を備え次世代の課題に取り組む人材の育成
13. 若手研究者の育成
14. 高度な専門性と創造性を有する職員の育成
15. 大学と社会をつなぐ双方向リカレント教育の実施

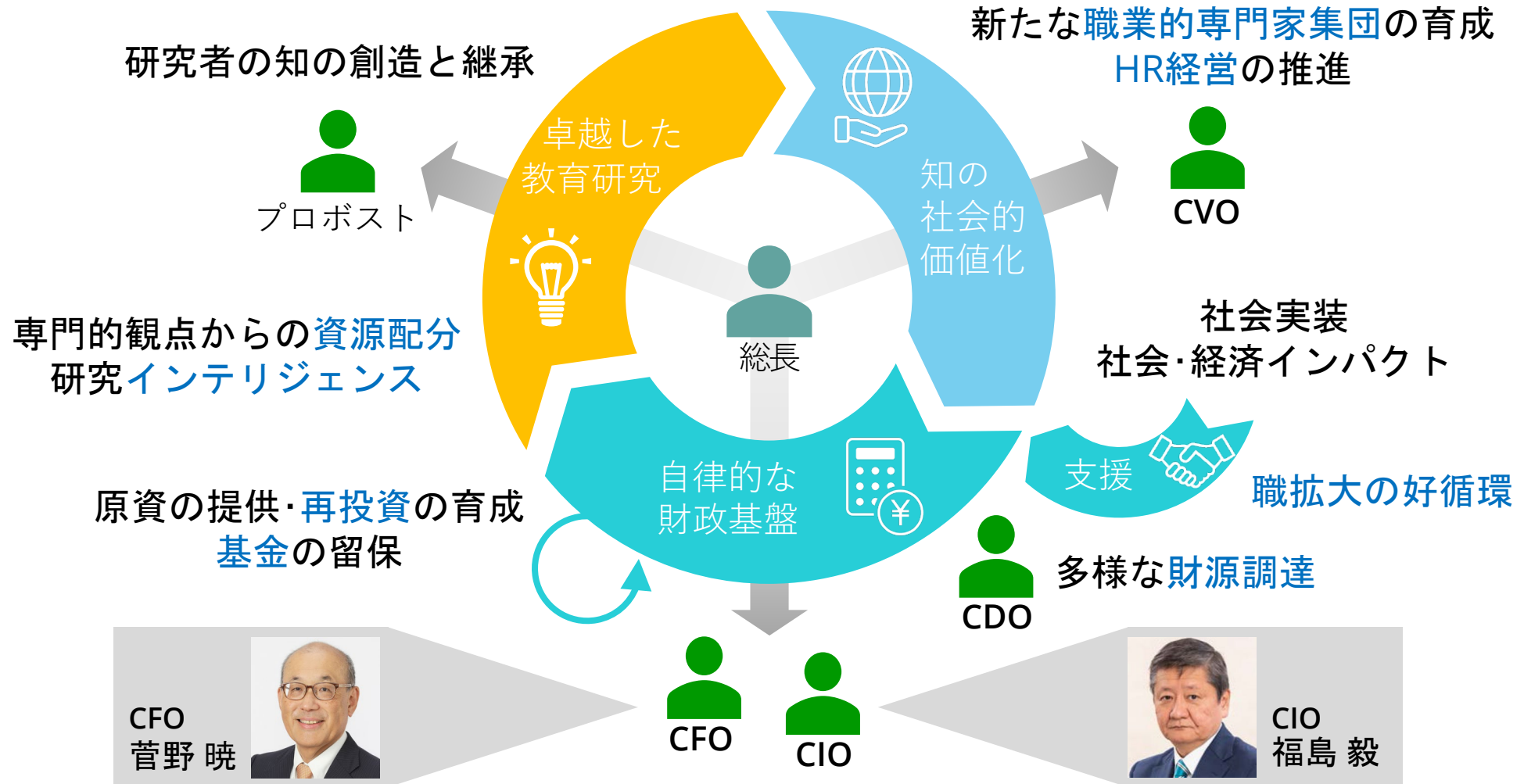


場をつくる

16. 安心して活動でき世界の誰もが来たくなるキャンパス
17. 教育研究活動の支援
18. サイバー空間に広がるキャンパス
19. 社会への場の広がり
20. 国際的な場の広がり

「世界の公共性」に奉仕し続ける「成長可能な経営メカニズム」

3つのマネジメントの好循環



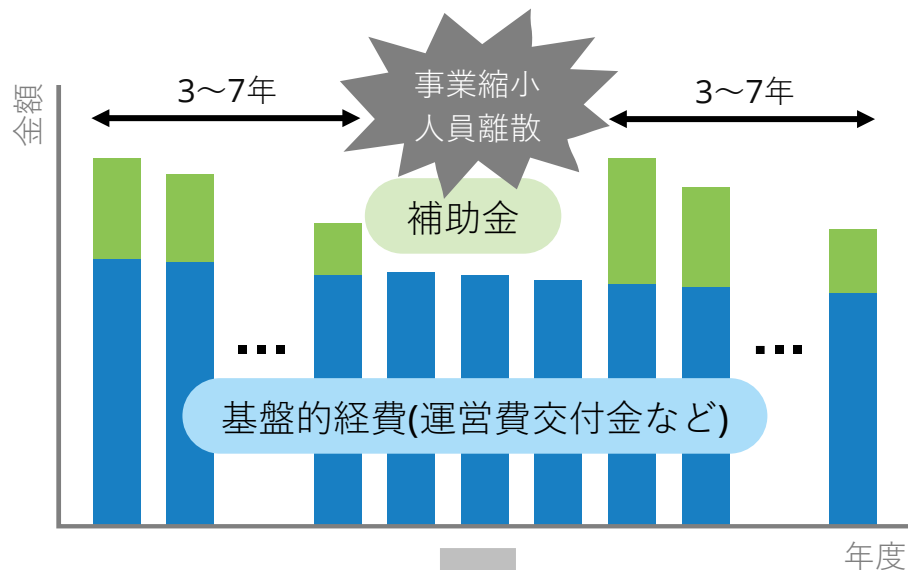
学内資金配分システム改革の実効性

補助金型からEndowment型へのシステム改革

これまでは事業成長を主眼、今後は大学独自基金の構築・拡大によるEndowmentを重視

補助金型

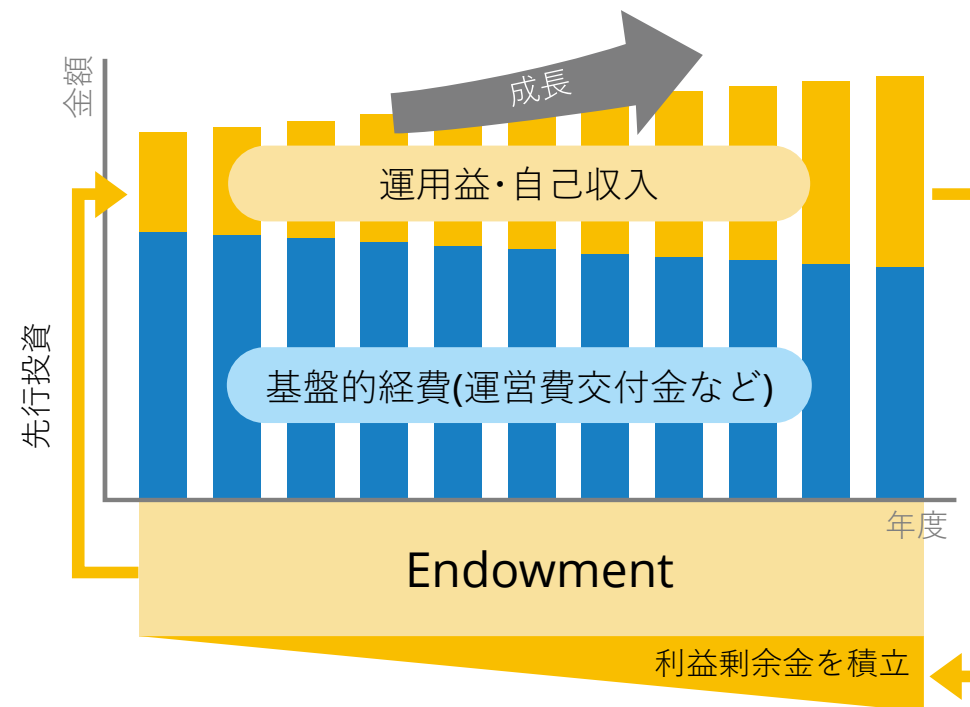
運営費交付金などの公的経費に依存。
補助金獲得のため、活動の幅が政府の方針に沿うものに限定され、かつ年限付きのため持続性がない。



不安定かつ非正規の雇用形態

Endowment型

長期的かつ持続的な視野での事業推進。
学外からのサポートや社会の要請も踏まえ、独自の判断で自律的な活動への先行投資。





経営力の確立

東京大学初のエンダウメント型研究組織の設置

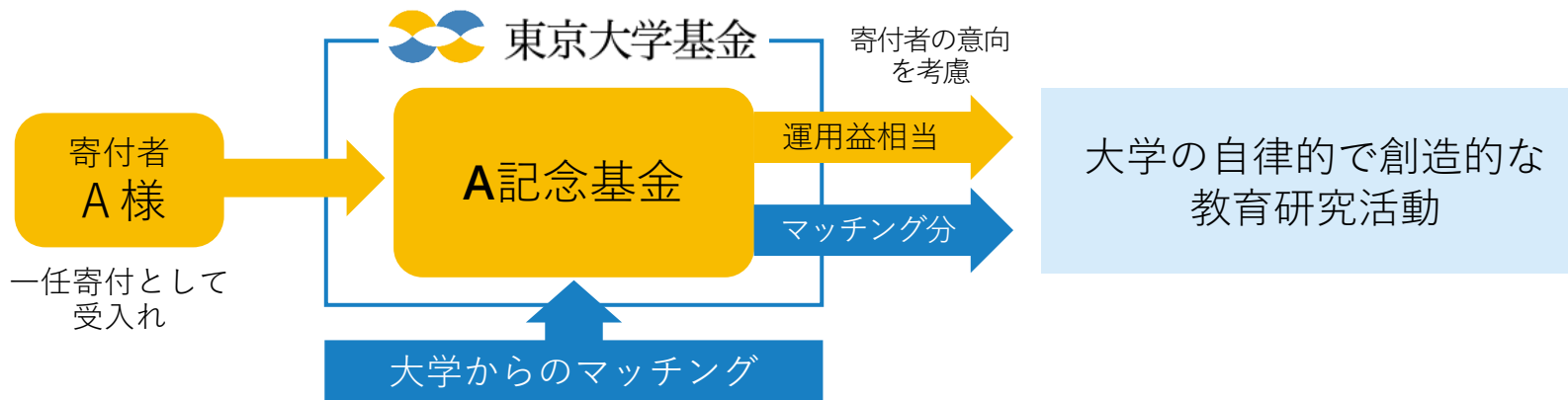
応用資本市場研究センター 2023年10月1日設置

学術・実務・制度という3つの観点から、資本市場に関するグローバルな学術の蓄積を、税制・企業会計制度・産業組織など各国固有の学術領域と融合することによって、資本市場研究を日本の新たな学術領域として創出し、日本に求められる資本市場のグランドデザインを提言・発信していく。

松本大氏 (マネックスグループ株式会社 取締役会議長兼代表執行役会長) からのご寄付をもとに設置した、本学初のエンダウメント型研究組織



Endowment型寄付の仕組み





知をきわめる

PERSPECTIVE 1

ワクチン開発のための研究開発拠点

国際高等研究所 新世代感染症センター UTOPIA

The University of Tokyo Pandemic preparedness, Infection and Advanced research center

2022年10月18日設置



世界のトップレベルの研究者が、分野の壁を越えて力をあわせ、感染症対策、ワクチン開発に挑む。

これまで感染症研究には関わっていなかったAI、構造生物学、社会科学など異分野の研究者も集結。

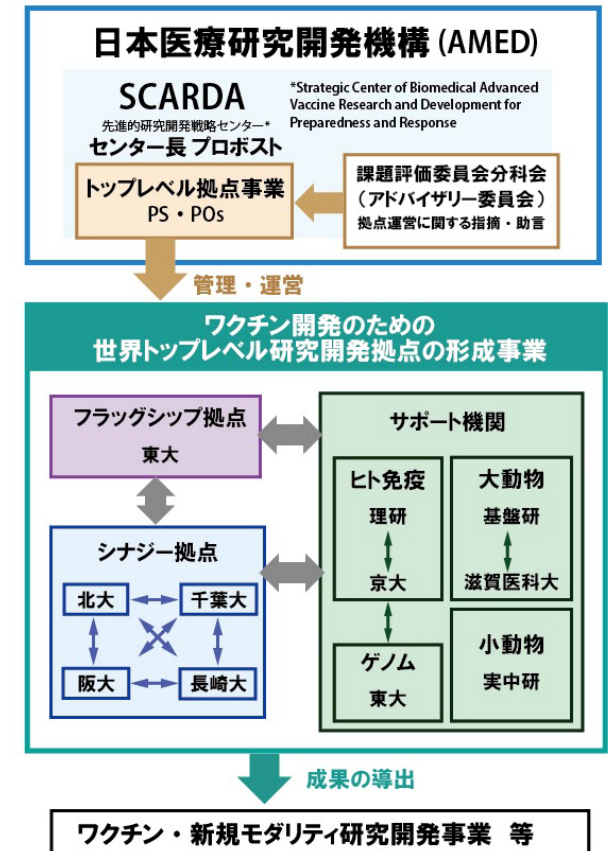
海外機関とのネットワークによる協力体制。



機構長
河岡 義裕

AMED-SCARDAのフラグシップ拠点

100 Days Missionへの対応





知をきわめる

PERSPECTIVE 1

人文・社会科学と自然科学の協働の振興

大江健三郎文庫の発足 2023年9月1日～

ノーベル文学賞作家のアーカイブ設立
(大学院人文社会系研究科)

本学の卒業生であり、ノーベル賞作家の大江健三郎
(1935-2023)に関する、多彩な資料を有する文庫



©森清/講談社

1

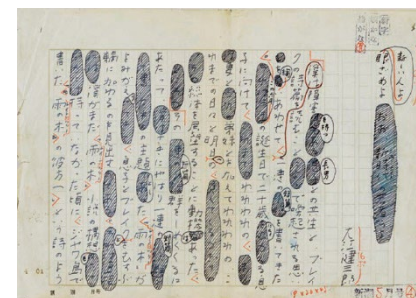
自筆原稿デジタルアーカイブ
大江家から寄託を受けた約1万8千枚の
自筆原稿・校正刷などのデジタル画像

2

関連資料コレクション
大江研究者から寄贈された大江氏の著書、
関連図書、雑誌等4000点に迫る関連資料

3

書誌情報データベース
大江健三郎氏の著作、関連文献の情報
を検索・閲覧できるデータベース





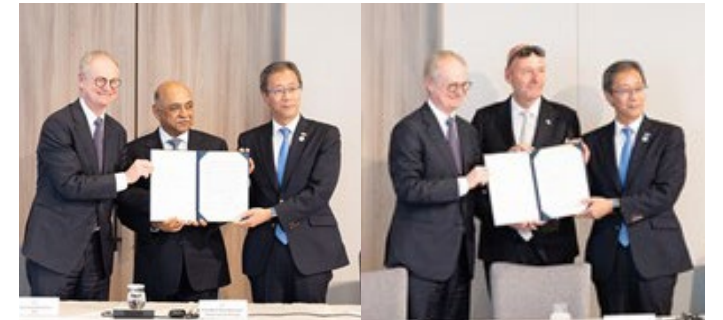
知をきわめる

PERSPECTIVE 1

量子・AIをめぐる海外機関との連携強化①

東京大学、シカゴ大学、IBM、Google間の量子パートナーシップの締結

1. 東京大学－シカゴ大学－IBM (\$100M)
 2. 東京大学－シカゴ大学－Google (\$50M)
- いずれも10年間のパートナーシップ



G7広島のスایدイベントとして、ブリンケン国務長官、永岡文科大臣 (当時) 立ち会いのもとで締結

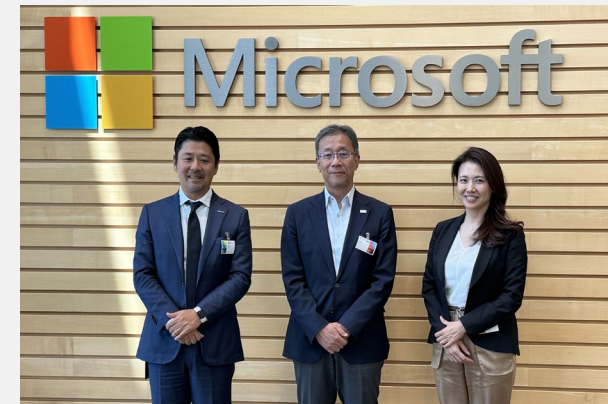


知をきわめる

PERSPECTIVE 1

量子・AIをめぐる海外機関との連携強化②

マイクロソフトと基本合意書の締結
GX、D&I、AI研究の推進に向けたパートナーシップ



AI House Davos

2024年1月15日～1月19日

AIの様々な側面について議論するためのプラットフォーム

Merantix、Swisscom、ETH AI Centerとともに“Initiator”として参画



Beyond AI
研究推進機構





人をはぐくむ PERSPECTIVE 2

国際感覚をはぐくむ教育

グローバル教育センター (GlobE)

2023年4月1日～

学生の国際化をサポートするための学内共同教育研究施設



グローバル教養科目

交換留学生を含む本学学生が、現代社会が直面する喫緊の課題を英語で学ぶ。特に「SDGs」に関するトピックを扱う。



UTokyo Global Unit Courses (GUC)

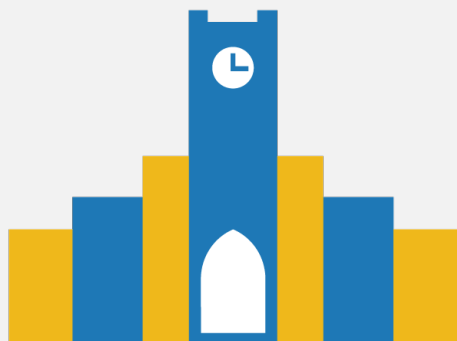
2021年に開始した全世界の大学生対象の短期プログラム。
今年6月中旬～7月に開講し、初めて対面で海外学生を受け入れ。
オンラインを含む全受講生207名のうち196名の学生が来日。
本学教員による専門の授業を1～2週間受講。



AUW※サマープログラム・シンポジウム ※ Asian University for Women

「21世紀の人の移動～移民、難民、避難民の視点から」をテーマに、ファーストリテイリング財団の支援を受け、バングラデシュのアジア女子大学 (AUW) との合同サマープログラムを実施。





場をつくる PERSPECTIVE 3

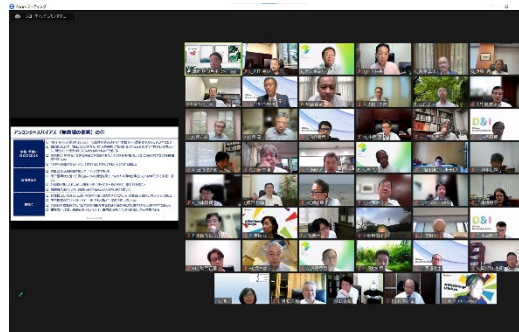
安心して活動でき世界の誰もが来たくなるキャンパス

総長対話 ～ 総長と共に考える東京大学のバリアフリー～
障害のある学生及びサポートスタッフの学生が総長と対話



D&Iへの理解の深化・定着促進セミナー

学内の経営層を含む上層部を対象にD&Iの理解を深め、意識を高めることを目的としたセミナー開催





場をつくる

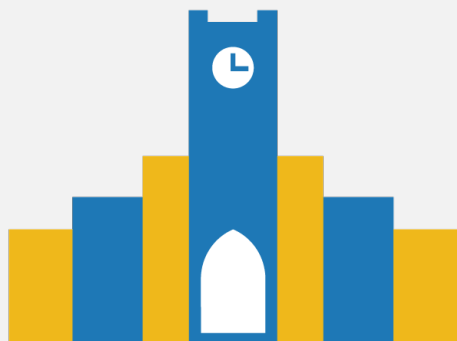
PERSPECTIVE 3

「プラネタリーヘルス」の創出

東日本旅客鉄道株式会社 (JR東日本) と、心豊かな暮らしの実現に向けた「プラネタリーヘルス」創出のため、100年間の産学協創協定を締結。

Planetary Health Design Laboratory (PHD Lab.) の拠点として、TAKANAWA GATEWAY CITY (2024年度末開業予定) に、日本初のプラネタリーヘルスをテーマにしたキャンパス「東京大学 GATEWAY Campus」を開設し、未来のくらしづくりに取り組む。





場をつくる

PERSPECTIVE 3

国際連携研究拠点の形成

国内における国際連携研究拠点

Planetary Health Innovation Center (PHIC)

フランスパスツール研究所が設置予定の日本拠点

傘下となる「PHIC」における協働

グローバルヘルス、ライフサイエンスなどの幅広い分野で、国際共同研究、学生の研修、スタートアップを奨励。産業界との交流の場としての機能も。



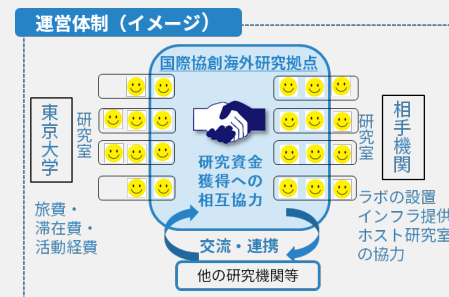
国外における国際連携研究拠点

国際協創プログラムLINK

UTokyo-KI Link for Innovative Networks and Knowledge

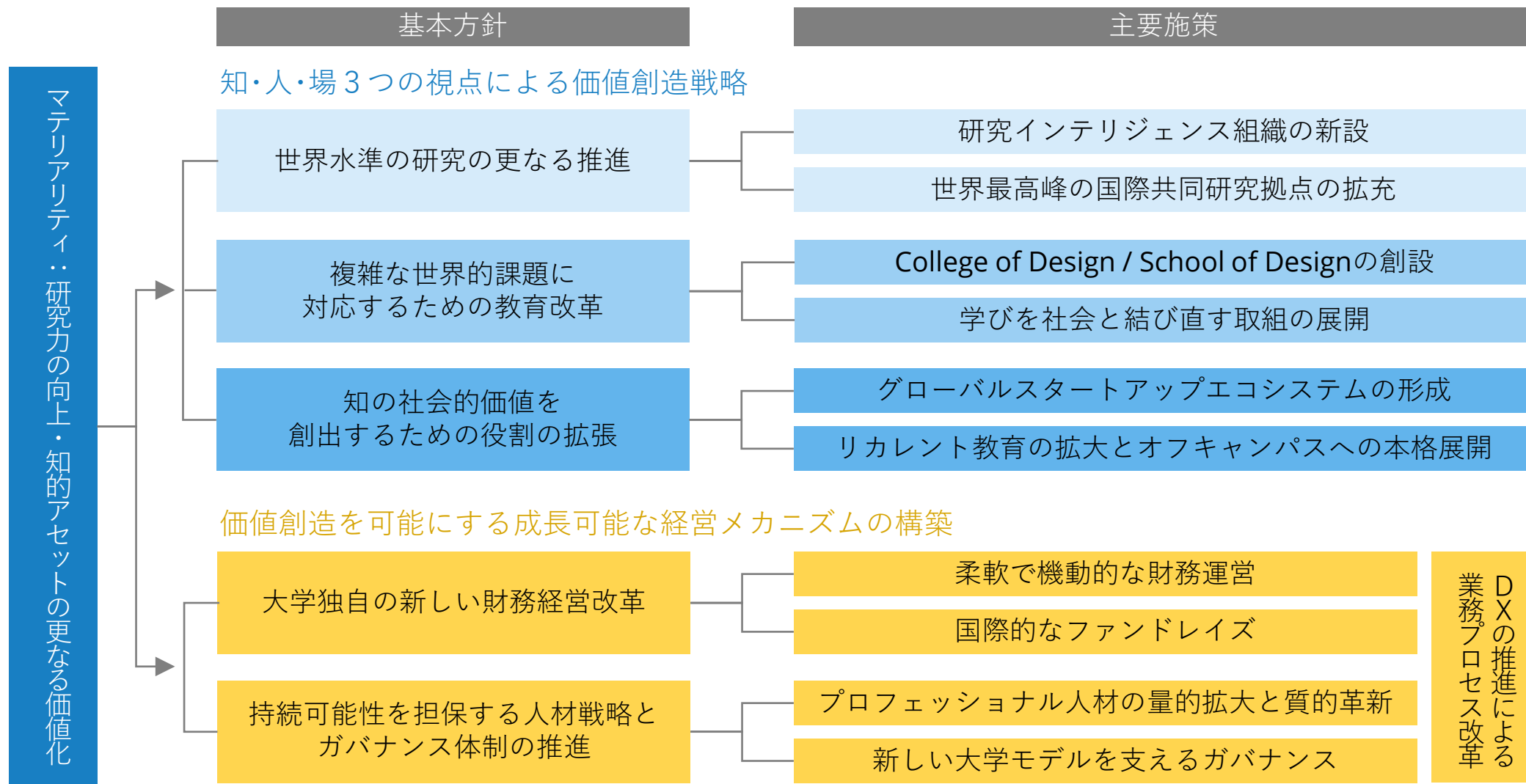
スウェーデンカロリンスカ研究所との国際交流協定に基づき、カロリンスカにラボを設置。

若手人材育成、新たな研究分野の開拓、技術開発、起業支援等のハブとして機能。高い独創性と卓越性を有する世界最高水準の先端的研究・教育を推進。



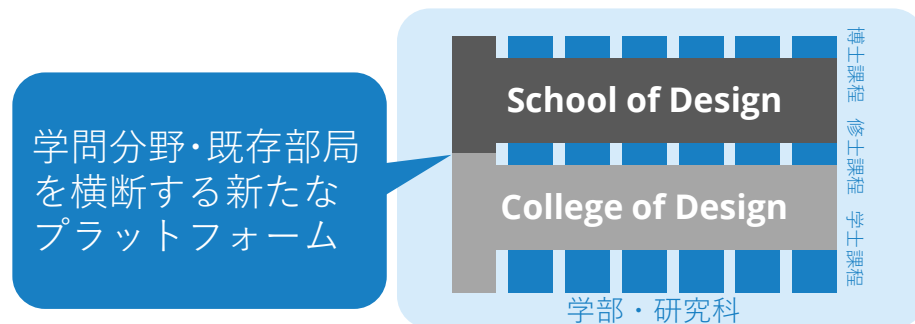
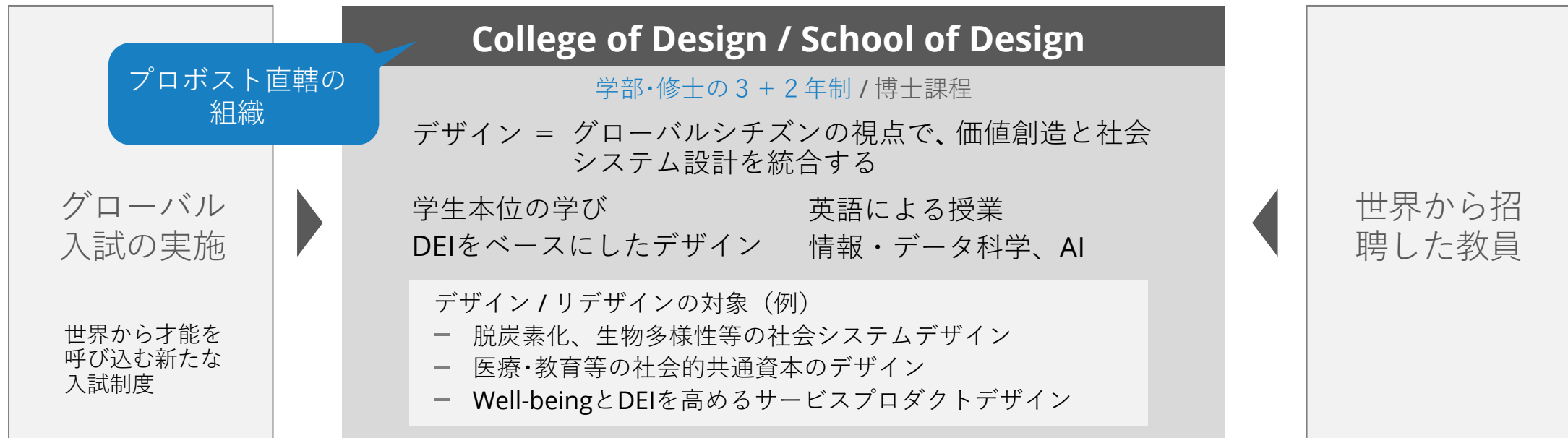
新しい大学モデルの構築

～好循環を加速するための重点投資計画～



複雑な世界的課題に対応するNew College of Design

本学の国際的存在感・競争力を増すための教育改革



学生・教員のシェア構造

教員の一部が既存学部と兼任し、教育・研究面での改革を全学へ波及。
(Shared Faculty)

カレッジ所属の学生(Core)に加え、既存学部から参画する学生(Affiliate)により、CoDと既存学部との間のシナジー効果を拡大。

目標 (大学全体) :

25年後(2049年)までに

学生に占める**外国人学生の比率**

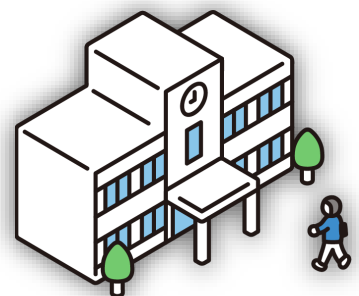
学部 > **30%** 大学院 > **40%**

外国籍研究者比率 > 30%

女性教員比率 > 40%

College of Design/School of Design 世界水準の教育研究を具現化する“The New University”

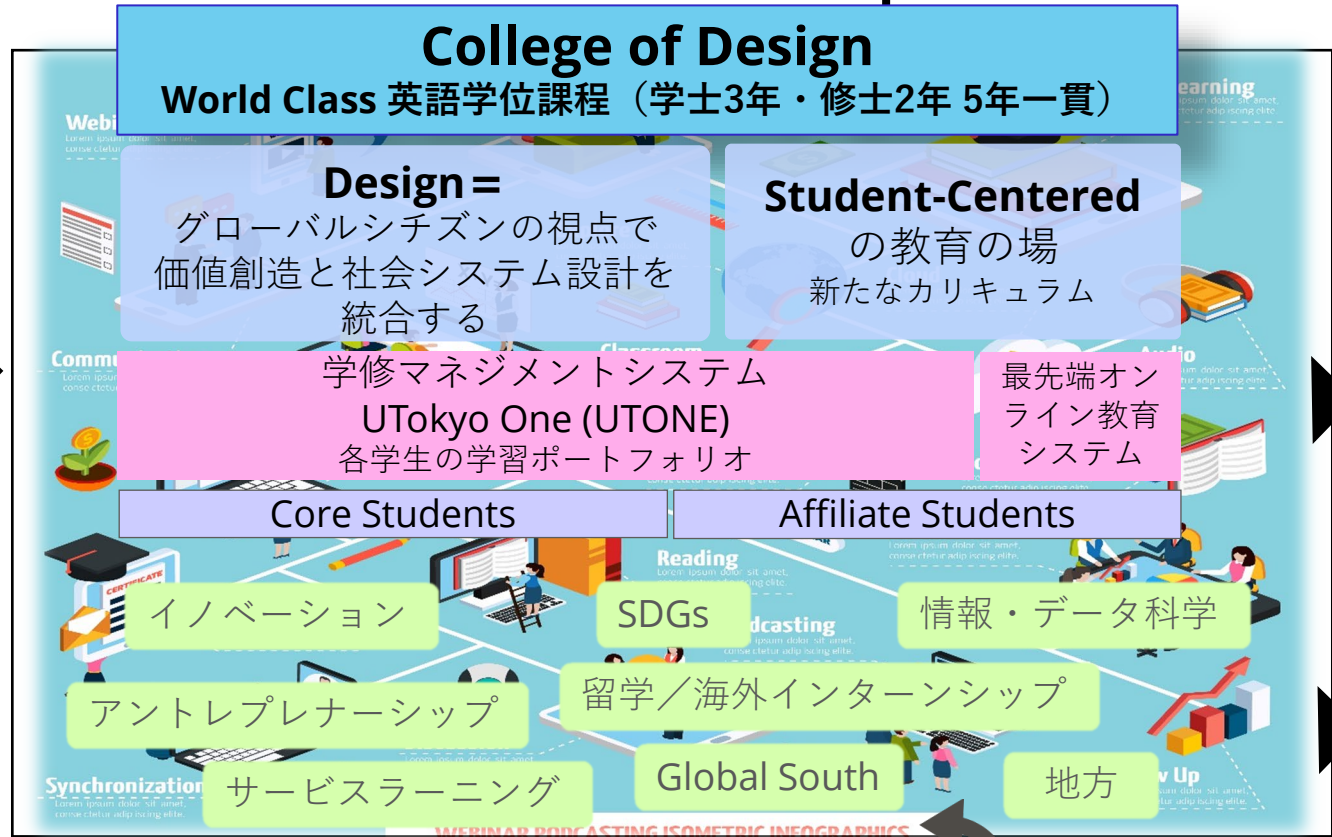
プロポスト直轄組織 (全体の再構築を見据えた合理的・戦略的・効率的資源配分)



国内高校 (一条校)
海外高校
国内インターナショナルスクール



グローバル入試
(多様性を最大限反映)
(国際AO入試のプロ集団を配置)



School of Design 博士課程



世界の大学院/東大大学院
博士進学・研究者キャリア形成

世界に貢献するデザイン
理論・実践



PEAK
Undergraduate Admissions 統合



経済的・人道的に困難な
状況にある国内外学生



シェアード・ファカルティ制度
東大全部局の参画 =
専門性と領域横断型の教育・研究推進



国際的に優秀な教員獲得
=柔軟な雇用・契約方式
・国際公募
・クロスアポイントメント
・グローバルフェロー

グローバル・スタートアップ・エコシステムの形成

学生・教員などの「社会的価値の開拓者」としての起業を重視し、不足していた、グローバル展開、ディープテック起業支援、non-profit型の社会起業支援という3つの機能を強化することで、総合的起業支援体制を実現

2つの
オープン化

- ・ 起業支援・成長支援の**対象**の拡大
- ・ 起業支援・成長支援の**主体**
(他大学や外部専門家、産業界、海外機関含めた連携)

▶ グローバルスタートアップエコシステム
を持つ**起業家大学**となる

1

グローバルスタートアップ
投資支援



2

ディープテック起業・
スタートアップ支援



3

non-profit型の
社会起業家支援



25年後までのスタートアップ(社会的企業含む) 総数を6,500件

(ユニコーン相当10社、時価総額合計10兆円を期待)

キャンパス周辺地域のエコシステムを世界とつながるグローバルエコシステムへ

Workshop & Networking by UTokyo, TMDU & Greater Tokyo Biocommunity at Cambridge

[Date & Time]
Tuesday, May 2, 2023 2:00-8:00PM (EDT)
[Venue]
Havana Room and Venture Café, at CIC
(Cambridge Innovation Center) Cambridge
One Broadway, 14th Floor, Kendall Square, Cambridge, MA 02142, USA
****Live streaming available from 3:00AM on May 3 (JST)**
[Organizers]
The University of Tokyo, Tokyo Medical and
Dental University, GTB HOTS HILL*, UTokyo IPC
[Supporters] JETRO, UIDP, GTB
[Registration] Free
****Pre-registration is required.**
Available from [Here](#)



Cambridge Innovation Center (2023)

UTokyo startups Globalization

North America:
NY, SFO, **Boston/Cambridge**,
Toronto/Waterloo



JETRO SF

UTokyoNY

UTokyoNY

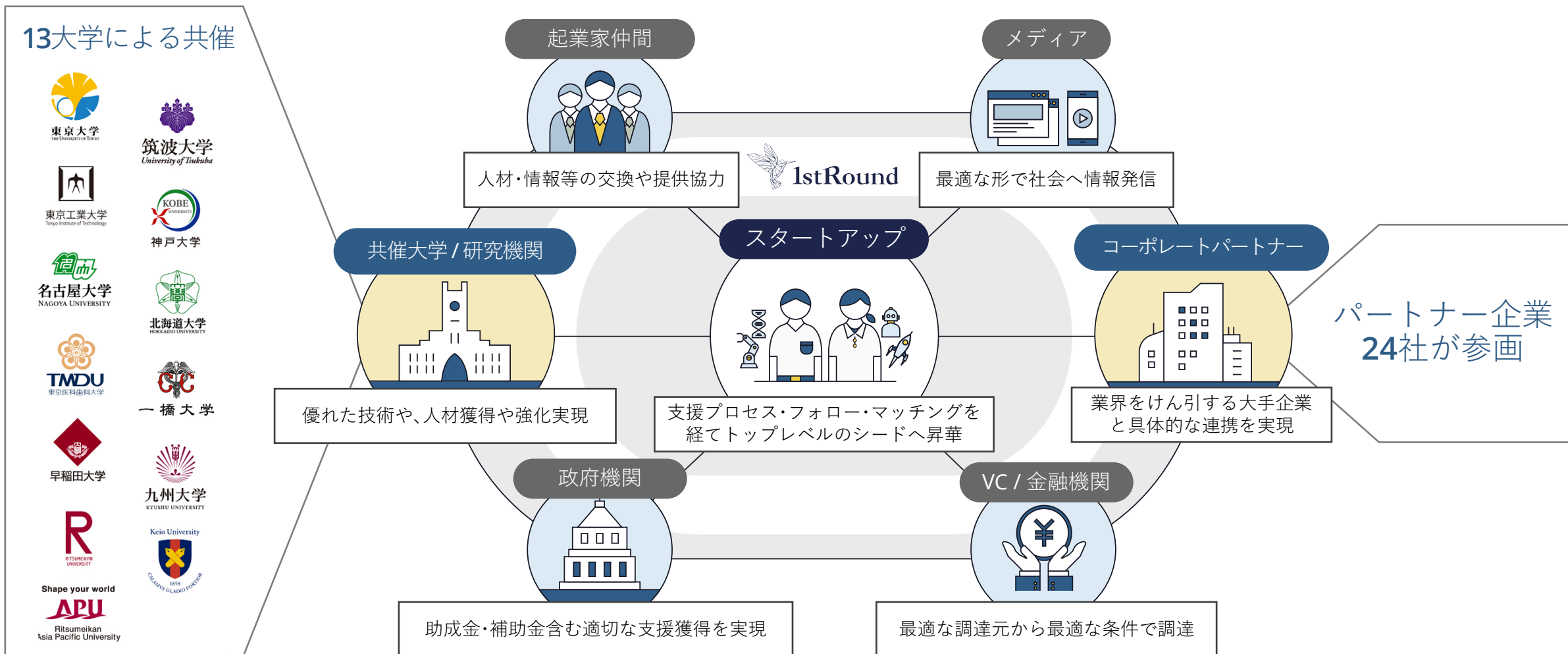


1stRound

produced in association with



知の価値化支援



東京大学におけるスタートアップ



東京大学協創プラットフォーム開発
東京大学投資事業会社 / 2016年

協創1号ファンド：ファンド総額250億円、これまで85社に投資(※)、協調直接投資から5社がIPO・M&A
AOI1号ファンド：ファンド総額256億円、これまで30社に投資

2023年4月末現在

※ 間接投資経由を含む、東大関連ベンチャーへの延べ投資社数



東京大学エッジキャピタルパートナーズ
東京大学関連ベンチャーキャピタル / 2004年

累積額約847億円の5本のファンドを運営、大学関連VCの草分け
約150社に投資し、ペプチドリームなど19社がIPO、20社がM&A

2023年3月末現在



東京大学TLO

東京大学関連技術移転機 / 1998年
累積で125.5億円のライセンス収入
累積で6,382件の契約を締結
2023年3月末現在

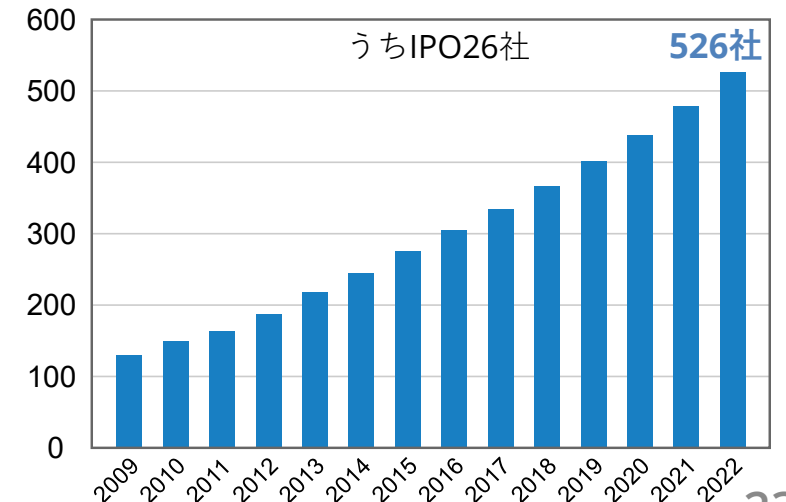
東大関連ベンチャー 主な上場企業



バイオ、化学系スタートアップ



累計起業数





創立**150**周年

2027年 東京大学は創立**150**周年を迎えます

沿革	1877 東京大学 創立	1886 帝国大学 に改組	1897 東京帝国大学 へ改称	1949 新制東京大学	2004 国立大学 法人化	2027 東京大学 創立150周年
----	--------------------	---------------------	-----------------------	----------------	---------------------	-------------------------

150年を振り返る

東京大学が置かれている状況の今を知り、これから進むべき道を選ぶために、《歴史》を節目節目で振りかえる機会とする。

150年の歴史を跡づける営みをとおしてこそいま、そしてこれからの東京大学が歩んでいく未来が描き出される。

UTokyo **COMPASS**  +

- 1 東京大学をかえりみる
- 2 東京大学を生み出す
- 3 東京大学でつながる



創立150周年 記念事業募金

150年を機にエンダウメント型財務経営へ転換を推進

運用益を永く活用する基金 (UTokyo NEXT150) を造成



使途一任型



東京大学を支える

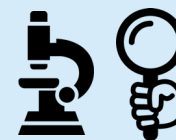
世界の公共性に奉仕/新しい大学モデルの実現

使途指定型



博士/学生を支援

エンダウド・
スカラーシップ



研究者を雇用

エンダウド・
プロフェッサーシップ

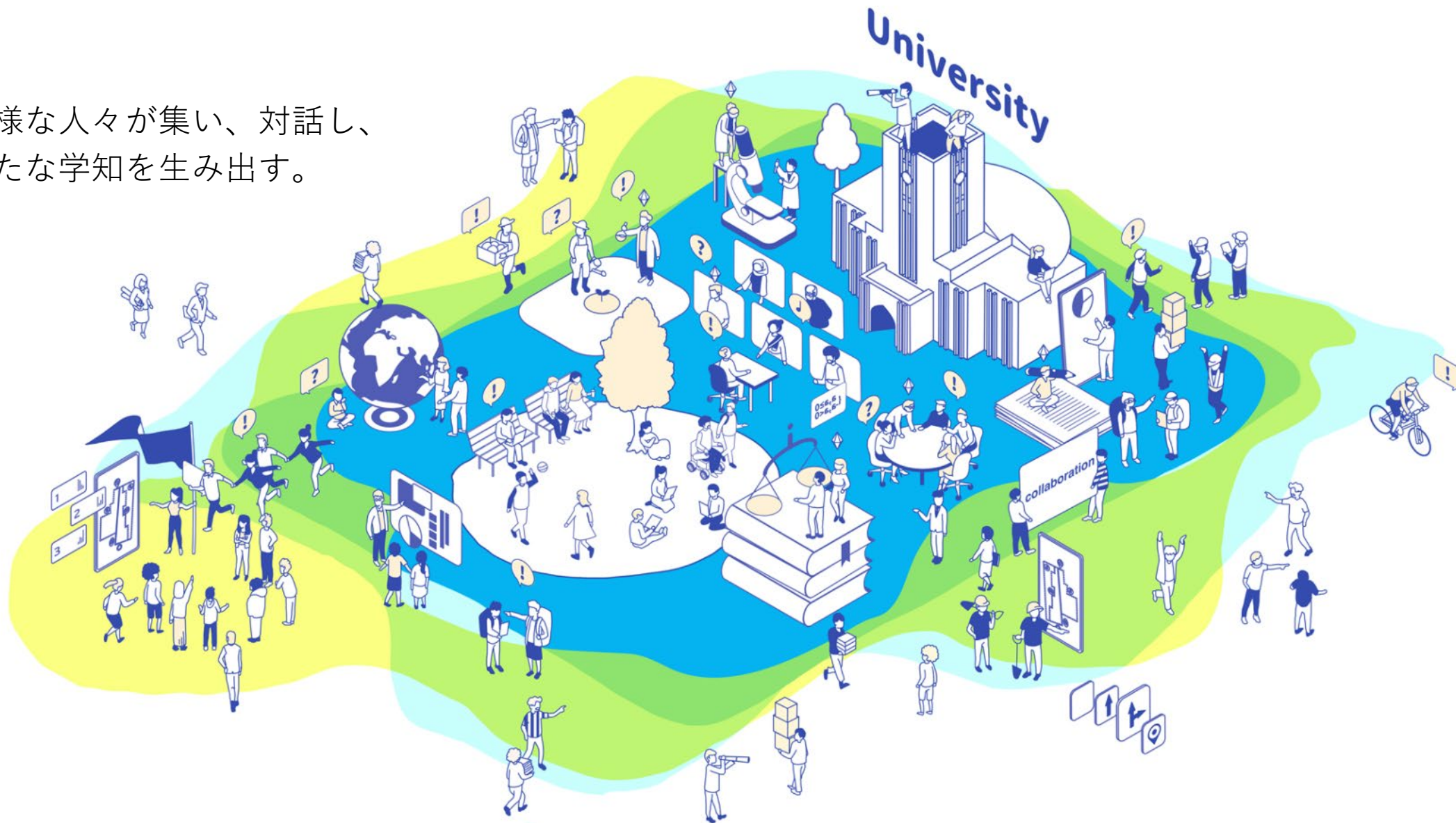


研究組織を設置

エンダウメント型
研究組織

UTokyo COMPASS ▲ が描き出すこれからの東京大学

多様な人々が集い、対話し、
新たな学知を生み出す。



多様性に開かれた対話を通じてあるべき未来像を社会とともに創り上げる

